

令和6年度 児童用学校評価 結果

回収調査データ数 = 339

達成率(%) = (A+B) ÷ 全体 × 100

No.	項目	回答数	達成率(%)	考察
1	わたしは自分から進んであいさつができる。	4: 262 3: 43 2: 19 1: 3 無: 2	90.0%	前回より13.4%上昇しており、高い数値である。担任の先生方の指導の結果であり、運営委員会、生活委員会の挨拶運動の工夫による結果とも言える。
2	わたしは毎日家庭学習をしている。	4: 168 3: 85 2: 46 1: 26 無: 4	74.6%	前回より5.9%上昇しており、学推担当はじめ、先生方の指導の結果である。がんばりノートのお手本の工夫も掲示しており、児童が進んで家庭学習をしようとする姿が見られる。
3	わたしは毎日「早寝・早起き・朝ご飯」を実践している。	4: 134 3: 117 2: 63 1: 13 無: 2	74.0%	前回と比較してもあまり変わらない数値である。家庭への働きかけをしているが、家庭の状況があまり変わっていないということがわかる。朝食だけでも摂取できるよう働きかけを続ける必要がある。
4	わたしは授業で自分の考えを発表することができる。	4: 110 3: 89 2: 91 1: 35 無: 4	58.7%	【課題】前回より3.7%増えている。校内研での協働的な学びが浸透しつつある。褒めながら価値付けし、自己有用感を育てていきたい。
5	わたしは、授業中、先生や友達の話をちゃんと聞いている。	4: 147 3: 122 2: 50 1: 10 無: 0	79.4%	前回と比較し、あまり変わらない数値である。小中一貫の「話す」「聞く」の指導を意識的に重点的に行っていく必要がある。
6	わたしは、忘れ物をしないで、学習用具の準備をきちんとすることができる。	4: 110 3: 140 2: 56 1: 22 無: 1	73.7%	前回と比較し、5%下がっている。忘れ物をしない、学習用具の準備をする、など基本的な生活習慣が身につけていない状況である。保護者と連携をしながら改善していきたい。
7	わたしは道徳の時間に勉強したことができるように努力している。	4: 144 3: 124 2: 39 1: 21 無: 1	79.1%	80%に近い数値になっている。道徳的価値の理解を基に自己を見つめ、多面的・多角的に自己の生き方について考えを深めていけるような指導が必要である。
8	わたしは進んで運動や体力づくりをしている。	4: 185 3: 85 2: 37 1: 19 無: 3	79.6%	前回と比較し、3.3%上がっている。熱中症アラートが解除され、子ども達が自由に運動場や体育館で活動できる環境になったことが、80%近い数値につながったと考えられる。
9	わたしは学校がきれいになるようにそじや整理せいとんをしている。	4: 165 3: 105 2: 43 1: 15 無: 1	79.6%	前回と比較し、3.4%下がっているのは残念なことである。毎日の清掃や整理整頓に対して、教師が可能な限り指導、支援を行い、子ども達に意識させる必要がある。
10	わたしはいつも、あぶないことをしないように気をつけている。	4: 183 3: 93 2: 34 1: 16 無: 3	81.4%	1と2の評価の数値を合わせると、50名であり、約15%の児童が「あぶない」とわかっていて、行動していることになる。由々しき問題である。具体的にどのような状況か、学級で話し合い改善していく必要がある。
11	先生方の授業はわかりやすい。	4: 205 3: 89 2: 21 1: 13 無: 1	86.7%	前回と比較し、2.7%下がっている。校内研の授業や一人一授業などを参観しても、先生方の授業力は向上しているため、タブレットを使用した授業との兼ね合いもあり、この数値になっていると考える。
12	先生方は、授業でわからないところを丁寧に教えてくれる。	4: 213 3: 79 2: 21 1: 15 無: 1	86.1%	先生方の個に応じた指導が、この数値の高さを表している。児童一人一人を評価しながら授業改善を図っているため、指導と評価の一体化のさらなる充実を目指してほしい。
13	先生方はいじめや暴力など、困っていることを解決してくれる。	4: 207 3: 80 2: 25 1: 15 無: 2	84.7%	1と2の評価に注目し、40名の児童が否定的である。「おしえてアンケート」では気づかない、いじめや暴力があると考えられる。学年や担任外で児童を観察し、気になることは即対応をしていきたい。
14	先生方は命の大切さや社会のルール(学校のきまり)についてよく教えてくれる。	4: 259 3: 51 2: 7 1: 9 無: 3	91.4%	前回と比較し、あまり変わらない数値であり、特に命の大切さについては、日々の学校生活で、児童と考えていくことが必要である。また、よい子の一日の内容を共通確認しながら継続指導していく。
15	先生方は地震(じしん)や火事(かじ)、不審者(ふしんしゃ)が来た時はどうすればよいか教えてくれる。	4: 264 3: 43 2: 11 1: 10 無: 1	90.6%	前回と比較し、1.8%下がっている。避難訓練時には理解しているものの、実際に災害が起きたときどのように行動するとよいか、朝の会や帰りの会などを利用し、児童と確認していきたい。
16	わたしは、スマホや携帯電話(けいたいでんわ)を家族(かぞく)の人との決まりを守って、つかっている。	4: 213 3: 62 2: 27 1: 23 無: 4	81.1%	前回と比較し、3.3%上がっている。情報モラルの問題に対して、学年での指導が児童にいい効果を与えている。しかしながら、1と2の評価を合わせると50名の児童が否定的である。家庭における使い方についても再度確認する必要がある。
17	わたしは、ちいさの行事やボランティア活動に、さんかしたことがある。	4: 116 3: 62 2: 66 1: 82 無: 3	52.5%	前回と比較し、4.5%上がっている。旗頭をはじめ、放課後子ども教室などが盛んになり、地域への関心が高まっていると考えられる。ボランティア活動についても、学級で取り組むことで、意識を高めていきたい。